

学びの改革（高校フロントランナー改革）事業

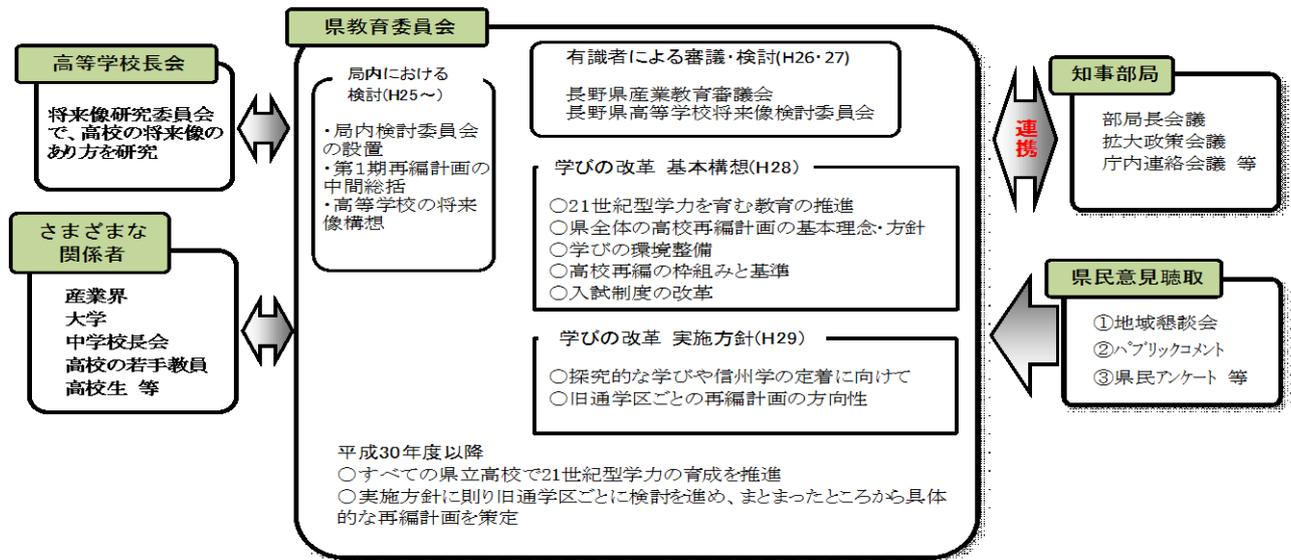
高校教育課

1 事業目的

将来を担う若者が社会の変化に対応しつつ、能力を最大限に高められるよう、本県の高校教育をこれまでの知識偏重の20世紀型学力から21世紀型学力の育成への転換を図り、教育の質の向上や教育方法の改善を行っていく必要がある。

また、少子化の進行により、平成43年までに中学校卒業予定者数が平成28年の4分の3（20,593人→15,315人）になる見込みで、第1期再編に引き続き高校の適正規模と適正配置を考えていく必要がある。

2 事業内容



○ 全体スケジュール

実施項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
局内検討委員会での検討							
長野県産業教育審議会での審議							
長野県高等学校将来像検討委員会での検討							
高等学校長会との協議							
県民アンケート・高校生との意見交換							
「学びの改革 基本構想(案)」の策定・公表							
県民意見聴取(パブコム①)							
若手教員・高校生との意見交換							
「学びの改革 基本構想」の策定							
県民意見聴取(地域懇談会、パブコム②)							
「学びの改革 実施方針(案)」の策定・公表							
産業界・大学・中学校長会等との意見交換							
高等学校入学者選抜制度の見直し							
「学びの改革 実施方針」の策定							
再編計画の策定と実施							

＜平成29年度事業の内容＞

項目	対象	内容及び実施方法
地域懇談会	一般県民	実施方針(案)を示し、旧12通学区ごとに懇談会を行う
産業界関係者との意見交換	産業分野別の関係者	高校における教育のあり方について意見交換を行う
大学・中学校長会等との意見交換	県内大学・短大関係者 中学校長会、教育団体	高校における教育のあり方について意見交換を行う
パブリックコメント	一般県民	「学びの改革 基本構想」の策定を受け、構想及び入学者選抜制度に対する意見を広く県民から聴取する
入学者選抜制度検討委員会	有識者	有識者による21世紀型学力に資する入学者選抜制度の検討委員会を実施

平成29年度は、28年度に策定した「学びの改革 基本構想」を受け、地域懇談会（旧通学区ごとの県民向け説明会）の開催、産業界・大学・中学校長会等との意見交換や高校長会と協議を丁寧に行いながら「学びの改革実施方針(案)」の策定に取り組む。また、入学者選抜制度についても検討を行っていく。

平成29年度末までには「学びの改革 実施方針」を確定し、平成30年度以降の計画実施を目指す。

3 平成29年度予算額 274万9千円